

輪中堤新聞

2024年8月
滝川市立東小学校
能村 駿一

滝川市にあった珍しい堤防

日本では、災害が起きるといいます。滝川では、どのような災害が起きているのでしょうか。調べてみると、水害が多いことがわかりました。水害から滝川を守っていたのが「輪中堤」という珍しい堤防でした。



滝川市役所の「防災危機対策課」の関さん、森さんにお話を聞きました。輪中堤は、大正十五年に完成した、町全体を囲うようにした堤防です。明治三十一年九月十一日の大洪水が起これ、同じような被害が出ないように北海道庁の石狩川治水計画として作られました。

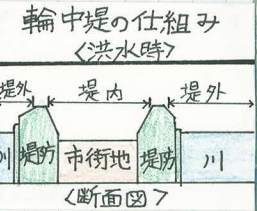
今の「輪中堤」跡を追う！



昔、輪中堤があったところをたどってみると、堤防のようになっています。防の字は、水を防ぐという意味です。その字が、輪中堤の「輪」の字と通じるところがあります。車が通るには、先ず、追えなくてはいけません。草がおいひげでいて、場所がわかりません。

記念碑もなく、道路に...

輪中堤のおかげで、市の人たちは守ることができました。輪中堤は、今でも、道路に、整備されています。



滝川市 水害対策の今

水害は、川が氾濫することによって起こります。水害を防ぐためには、堤防を築いたり、排水設備を整えたりする必要があります。滝川市では、水害対策として、堤防の整備や、排水設備の強化を行っています。



編集後記

滝川市は昔から水害に悩まされてきました。水害を防ぐためには、堤防を築いたり、排水設備を整えたりする必要があります。滝川市では、水害対策として、堤防の整備や、排水設備の強化を行っています。

天変地異

二〇二四年一月一日、北海道で地震が起きました。地震は、地盤が揺れることによって起こります。地震を防ぐためには、建物の耐震性を高める必要があります。